



たった1%なんだけどね

本日、すべての榆木っ子が本年度の教育課程を無事終えました。昨日の卒業式と合わせ、515人全員が、新しい学校・学年への巣立ちの時を迎えました。これまでの保護者の方々の榆木小学校へのご理解とご協力、心から感謝いたします。



子どもたちの巣立ちに際し、今日は1%の力を考えてみたいと思います。

今の状況を「1」としたとき、明日も変わらないとするならば、同じ「1」。明後日も…とこれを繰り返したとしたら、次のような成長計算になりそうです。

$$1 \times 1 \times 1 \times \dots \times 1 = ?$$

お分かりの通り、何日繰り返す(1を何度もかけた)としても答えは「1」。1のまんま。

しかし、毎日1%の努力や変化を求めたらどうでしょう。1%は0.01なので、割合は1.01倍ということで、次の式が成り立ちます。

$$1.01 \times 1.01 \times 1.01 \dots \times 1.01 = ?$$

これって、どのくらいの変化になるのでしょうか。仮に、1年間(365日=10.1の365乗)とすると、この計算の結果は、37.78…。およそ38倍!

毎日、小さな小さな1%の変化や努力は、これから1年後、38倍もの大きな変化や成長となって、わが身をなりたい自分に近づけてくれるのです。

はたして、1%って小さいですか。

やることは、至極簡単です。例えば、次のようなことが考えられるかもしれません。

- ・ 1日15分ほどの読書をする。(1日1440分の1%14.4分)
- ・ 授業の振り返りを2,3行書いてみる。(15分もいらなかも?1%もない変化かも?)
- ・ 下校時にごみを一つ拾う。(一回もしない人なら、1%以上の効果だ!)
- ・ 1日1人だけは自分から挨拶をする。(およそ1日100人と挨拶を交わすそうです)

今の自分も持っている手持ちの力だけではなく、たった1%の、ちょっとした背伸びをする。それは、なりたい自分に向けた、わたしの挑戦なのだと思います。そのたった1%の挑戦が、その小さな一つ一つの背伸びが、とてつもない大きなジャンプにつながる、かけがえのない準備になると、私はそう思います。

ただ、書き出した例を見てみると、そう大したことはない。簡単にできそう。でもでも、問題は、それを継続できるか否か。

だから、誰かが決めるのではなく、「わたし」が決めねばならないのです。

.....

美しい風そよぐ大空を羽ばたく鳥は、とても心地よさそうです。でも、飛んでみなければわからない。飛ぼうとしないものには、その心地よさは感じられません。

自分の翼で飛び立つ者だけが、その心地よさを体験することができるのです。

令和5年度を終えるにあたり、本校職員一同、心より榆木っ子の今後のさらなる、そして大いなる飛躍を期待しています。